

ダイワ米国債 R C 運用 ファンド・リスク抑制型 (ダイワ SMA 専用)

運用報告書(全体版) 第 7 期

(決算日 2020年 4月 8日)

(作成対象期間 2019年10月 9日～2020年 4月 8日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、残存期間の異なる米国国債に投資するとともに、市場環境に応じてヘッジ取引を行ない、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の 9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	約 5 年 1 カ月間 (2016年 9月13日～2021年10月 8日)
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国国債
株式組入制限	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続した分配を行なうことをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 分 込 配 み 金	期 騰 落 中 率				
3 期末 (2018年 4 月 9 日)	円 9,086	円 70	△	5.8 %	% 97.8	% —	百万円 1,089
4 期末 (2018年10月 9 日)	8,939	80	△	0.7	95.7	—	1,072
5 期末 (2019年 4 月 8 日)	8,980	90		1.5	96.4	△ 23.0	1,077
6 期末 (2019年10月 8 日)	9,191	90		3.4	95.7	△ 46.2	183
7 期末 (2020年 4 月 8 日)	9,458	100		4.0	94.0	△ 47.6	188

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注 3) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：9,191円

期末：9,458円（分配金100円）

騰落率：4.0%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

残存期間の異なる米国国債に投資するとともに、市場環境に応じてヘッジ取引を行った結果、債券相場の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国債RC運用ファンド・リスク抑制型（ダイワSMA専用）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	債 券 先 物 率 比	
	騰 落 率	騰 落 率		騰 落 率	騰 落 率
(期 首) 2019年10月 8 日	円 9,191	% —	% 95.7	△	% 46.2
10月末	9,093	△ 1.1	95.9	△	46.6
11月末	9,102	△ 1.0	95.7	△	46.9
12月末	9,052	△ 1.5	95.5	△	46.8
2020年 1 月末	9,158	△ 0.4	95.8	△	23.5
2 月末	9,351	1.7	96.0	△	23.5
3 月末	9,587	4.3	95.6	△	47.4
(期 末) 2020年 4 月 8 日	9,558	4.0	94.0	△	47.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019.10.9～2020.4.8）

米国債券市況

米国国債市場は上昇（金利は低下）しました。

当作成期首より2019年12月にかけては、米中通商協議において第1段階の合意に達したことなどから市場心理が改善し、金利は上昇基調で推移しました。2020年1月は、米国とイランとの関係悪化を受けたリスク回避の動きを背景に金利低下となりました。1月下旬には中国で発生した新型コロナウイルスの感染者数が急増したことにより、世界的な悪影響を懸念する動きがリスク回避的な動きにつながり、金利は低下基調となりました。2月は新型コロナウイルスの感染が世界的に広まる中、世界経済への懸念とともに投資家心理の悪化から安全資産である米国債券が買い進まれ、金利は低下基調を強めました。3月は緊急のFOMC（米国連邦公開市場委員会）が2度行われ、金利はさらに低下しました。また、新型コロナウイルスの感染者数が世界的に急増し、景気悪化がより懸念される状況となりました。当作成期末にかけてはやや落ち着いた動きとなりました。

為替相場

米ドル円相場は小幅の上昇（円安）となりました。

米ドル円相場は、当作成期首から2019年12月末にかけて、米中通商協議や英国のEU（欧州連合）離脱問題への懸念が後退したことなどにより、上昇傾向が続きしました。2020年1月から2月にかけては、中国で新型コロナウイルスの感染が拡大し世界各国に波及したことを受けて、変動性の高い相場展開が続きしました。3月に入ると、投資家心理の悪化を背景に一時101円台前半まで急激に円高が進行しましたが、3月中旬以降は買い戻しが入り、一転して円安方向の動きとなりました。当作成期末にかけては、FRB（米国連邦準備制度理事会）や政策当局の対応を受けて市場がやや落ち着きを取り戻したことから、一進一退の動きとなりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

引き続き、残存7年から10年までの残存期間ごとの米国国債の組入比率がほぼ均等となるようなポートフォリオを維持します。また、米国国債市場のボラティリティをもとに市場環境のリスク度を分析し、適宜ヘッジ比率を変更することで、債券価格変動リスクおよび為替変動リスクの抑制を図り、安定した収益の確保をめざします。なお、ヘッジ取引は大和証券株式会社からの助言を受けて行います。

ポートフォリオについて

(2019.10.9～2020.4.8)

残存7年から10年までの残存期間ごとの米国国債の組入比率がほぼ均等となるようなポートフォリオを構築し、残存期間の分散を図りました。また米国国債市場のボラティリティに応じて市場のリスク度を判断し、適宜ヘッジ取引を行いました。

当作成期首時点のリスク水準は「高位」でした。2019年10月から12月にかけては、米国国債市場のボラティリティが高水準で推移したことから、リスク水準を「高位」と判断し、ヘッジ比率を維持しました。

2020年1月は、中旬にかけて米国国債市場のボラティリティが低下したことから、リスク水準判断を「高位」から「中位」に変更後、すみやかに「通常」に引き下げ、ヘッジ比率を引き下げました。しかし月末にかけては、再びボラティリティが上昇したことから、「通常」から「中位」に変更し、ヘッジ比率を引き上げました。

2月は、月初に米国国債市場のボラティリティが低下したことから、リスク水準判断を「中位」から「通常」に変更し、ヘッジ比率を引き下げました。その後、月半ばにかけてボラティリティが再度上昇したことから、「通常」から「中位」に変更し、ヘッジ比率を引き上げました。

3月以降は、米国国債市場のボラティリティが高い状態が継続したことから、3月初めにリスク水準判断を「高位」へ変更し、ヘッジ比率を引き上げた後は、当作成期末までおおむね「高位」の水準を維持しました。なお、ヘッジ取引は、大和証券株式会社からの助言を受けて行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2019年10月9日 ～2020年4月8日	
当期分配金（税込み）	（円）	100
対基準価額比率	（％）	1.05
当期の収益	（円）	96
当期の収益以外	（円）	3
翌期繰越分配対象額	（円）	16

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	96.02円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		4.17
(d) 分配準備積立金	✓	16.05
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		116.25
(f) 分配金		100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		16.25

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

引き続き、残存7年から10年までの残存期間ごとの米国国債の組入比率がほぼ均等となるようなポートフォリオを維持します。また、米国国債市場のボラティリティをもとに市場環境のリスク度を分析し、適宜ヘッジ比率を変更することで、債券価格変動リスクおよび為替変動リスクの抑制を図り、安定した収益の確保をめざします。なお、ヘッジ取引は大和証券株式会社からの助言を受けて行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 10. 9～2020. 4. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	23円	0. 247%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 202円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0. 176)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(5)	(0. 055)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0. 008	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(1)	(0. 008)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	17	0. 182	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(16)	(0. 178)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	40	0. 437	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

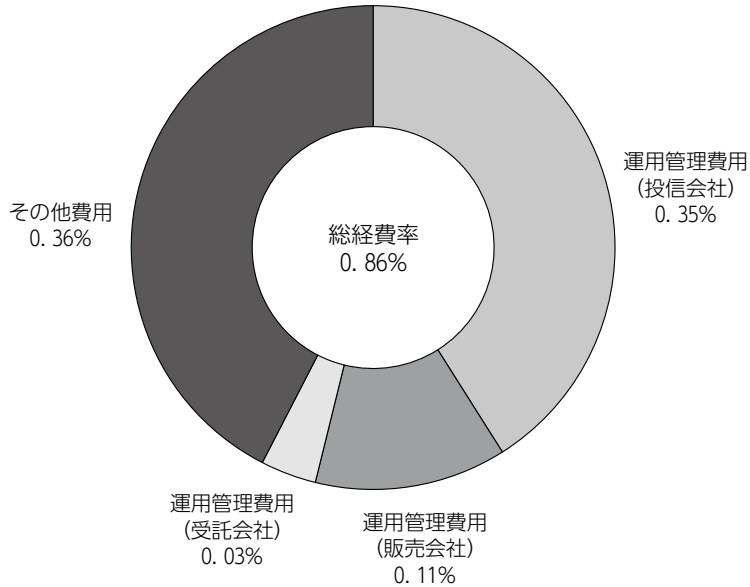
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.86%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国債RC運用ファンド・リスク抑制型（ダイワSMA専用）

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2019年10月9日から2020年4月8日まで)

		買付額	売付額
外国	アメリカ	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
		国債証券	266
		()	()

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2019年10月9日から2020年4月8日まで)

種類別	買 建		売 建	
	新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国	百万円	百万円	百万円	百万円
債券先物取引	—	—	304	301

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2019年10月9日から2020年4月8日まで)

当 期		期 末	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2030/2/15	14,591	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.25% 2027/2/15	14,916
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.75% 2029/11/15	14,546	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2026/11/15	14,662
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.75% 2029/11/15	1,172
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2029/8/15	1,147
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.375% 2029/5/15	989
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.625% 2029/2/15	984
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.875% 2028/8/15	879
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.75% 2028/2/15	857
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.25% 2027/11/15	835
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.25% 2027/8/15	825

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期	当 期			未				
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下組入率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
区分	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	1,439	1,632	177,446	94.0	—	94.0	—	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
			%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.3750	121	135	14,761	2027/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	122	136	14,869	2027/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	122	136	14,824	2027/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	117	136	14,805	2028/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.8750	116	136	14,786	2028/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.8750	115	135	14,772	2028/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.1250	113	135	14,759	2028/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.6250	117	136	14,800	2029/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.3750	118	135	14,692	2029/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	126	136	14,812	2029/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	124	135	14,754	2029/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	127	136	14,808	2030/02/15
	合 計	銘柄数 金 額	12銘柄		1,439	1,632	177,446

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘 柄 別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外 国	百万円	百万円
US 10YR NOTE (CBT)(アメリカ)	—	89

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年4月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	177,446	92.5
コール・ローン等、その他	14,483	7.5
投資信託財産総額	191,930	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.67円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (184,596千円) の投資信託財産総額 (191,930千円) に対する比率は、96.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年4月8日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	378,178,378円
コール・ローン等	6,250,449
公社債 (評価額)	177,446,442
未収入金	189,978,592
未収利息	1,005,865
前払費用	5,438
その他未収収益	334,069
差入委託証拠金	3,157,523
(B) 負債	189,463,767
未払金	187,007,200
未払収益分配金	1,995,246
未払信託報酬	453,870
その他未払費用	7,451
(C) 純資産総額 (A - B)	188,714,611
元本	199,524,652
次期繰越損益金	△ 10,810,041
(D) 受益権総口数	199,524,652口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,458円

* 期首における元本額は199,524,652円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,458円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は10,810,041円です。

ダイワ米国債 R C 運用ファンド・リスク抑制型 (ダイワ SMA 専用)

■損益の状況

当期 自2019年10月9日 至2020年4月8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,122,005円
受取利息	1,959,331
その他収益金	162,726
支払利息	△ 52
(B) 有価証券売買損益	6,977,057
売買益	20,405,516
売買損	△ 13,428,459
(C) 先物取引等損益	976,899
取引益	2,030,485
取引損	△ 3,007,384
(D) 信託報酬等	788,647
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	7,333,516
(F) 前期繰越損益金	16,231,557
(G) 追加信託差損益金	83,246
(配当等相当額)	(49,960)
(売買損益相当額)	(33,286)
(H) 合計 (E + F + G)	8,814,795
(I) 収益分配金	1,995,246
次期繰越損益金 (H + I)	10,810,041
追加信託差損益金	83,246
(配当等相当額)	(49,960)
(売買損益相当額)	(33,286)
分配準備積立金	241,069
繰越損益金	△ 11,134,356

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,915,932円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	83,246
(d) 分配準備積立金	320,383
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,319,561
(f) 分配金	1,995,246
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	324,315
(h) 受益権総口数	199,524,652口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	100円

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

〈お知らせ〉

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。